

ボランティア活動ということ 育成会長 大木 俊夫

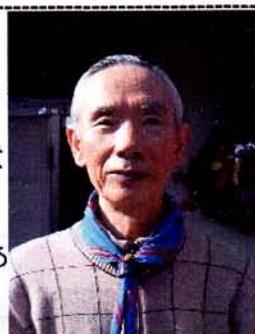
ボランティアというカタカナ語が使われ始めたのはいつ頃だったのでしょうか。

それまでは奉仕活動者と言っていたはずなのですが、「奉仕」という言葉は、少なくとも私の世代くらいまでの老人は、「勤労奉仕」という4字熟語を連想し、戦(いくさ)のために国から強制された労働という言葉思い出します。したがって、「強制ではなく、自発的に奉仕する者」という意味の「ボランティア」という言葉を最初に英語(volunteer)から取り入れて使い始めたのは、実際に勤労奉仕をさせられた世代の人たちでしょう。

英語のvolunteerは、16世紀の後半に「志願兵」の

意味でフランス語から導入されたようですが、この言葉は本来、「自発的に働く」という意味です。元々はローマ時代に使われたラテン語の「自由意志」という言葉と深い関係があるようです。

「自由意志」という言葉は日



常それほど使われませんが、キリスト教国では神から人間だけに与えられたと考へ、重要な言葉です。「神と国とに誠を尽くし、おきてを守ります」と誓うとき、このようなことも思い出してください。

22団の団委員長が変わりました。名倉団委員長から稲垣団委員長へ

誰のためのスカウティングか？ 前団委員長 名倉 正彦



キャンプなんて出来る家庭環境ではなかった。近くの川で遊ぶ事さえ許してもらえず、当然インドア派の人間になった。息子の成長を願うばかりにボーイスカウトにお世話になったが、もともと野外活動は苦手であった私が20数年係わった事は「なんと人生は面白いものだ！」と感じている。

「スカウティング・フォア・ボーイズ」を時々広げて見る。ただ漠然と広げるにすぎないのだが、面白い。実に面白い。命令調で書かれている所も面白いが、次から次へと成長の夢が広がって行く様は、

なまじっかの小説を読むよりずっと楽しい。

子供たちの成長をシミュレーション出来るなんてボーイスカウトでなくっちゃ出来ませんよね！凡庸な私が団委員長をお引き受けて10余年が経過した。多くの方々のご協力・ご支援に心より感謝申し上げたいと思います。幸いに優秀な新団委員長の稲垣紘一さんと交代できた事はすごく嬉しいことで、益々光り輝く22団になるよう心より願っている。

「スカウトの、スカウトによる、スカウトの為の活動！」をテーマに微力ながら努めて行きたいと思っています。

ボーイスカウトとOJT(On-the-Job Training) 団委員長 稲垣 紘一



このたび名倉前団委員長の後継として任命されました稲垣です。この20年あまり隊指導者として歩んで参りましたので、名倉さんのように調整を取りながら、おだやかに団運営が出来るか心配なところです。

少しずつ学びながら団の充実、すなわちスカウトが自発活動を発揮し自らの目的と目標が達成されるように、援助していきたいと考えています。

また、上記のことを実現させるためには、隊指導者の皆様方に大きく依存させて頂くところです。

今後、団会議などをお願いし、お諮りしてまいります。隊内・団内の技能の継承がスムーズに行くよう機会を設けたいと考えています。

ボーイスカウトでの指導者訓練や班長訓練などではOJTの手法が取り入れられています。OJTは第1次世界大戦の時アメリカで取り入れられた職業訓練でしたが、ボーイスカウトは発足時代からこの方法でした。すなわち、(やってみせる→説明する→やらせてみせる→補修指導)の4段階訓練です。この伝統がだんだん衰退している現状を何とか歯止めをかけ、良い意味でのスカウトスキルが向上するよう努力してまいります。

平成19年度10月～団委員名簿

育成会長	大木 俊夫
	T
副育成会長	M
	N
団委員長	稲垣 紘一
	N
副団委員長	A
	O
野営長	N
行事委員長	O

スキー担当	O
野営行事BS	S
野営行事CS	K
野営行事Bv	T
指導者養成委員長	S
進歩委員長	U
組織拡張委員長	S
	Y
組織拡張委員	S
	S
広報委員長	S

広報委員	O
	H
健康安全委員	U
	M
財政委員長	O
団事務連絡	N